

Myctophidae
ハダカイワシ科



和名・学名：オオメハダカ *Protomyctophum thompson*

地方名：なし

特徴：体側の発光器は腹側に集中し、測線付近にはない。吻はやや短く、吻端は上顎前端にほぼ等しい。側線はよく発達する。胸びれ上発光器(PLO)は胸びれ上端よりも下にある。胸びれ下発光器(PVO)は水平。肛門上発光器(SAO)は等間隔ではなく、SAO₂はSAO₁よりSAO₃に近い。SAO₁はVO₃の直上か少し前にある。他のハダカイワシ類と同様、日中は水深200 mより深い深海域に生息し、夜間には表層付近に浮上して動物プランクトンを食べる。写真個体は、東北区水産研究所資源管理部の底魚資源研究室が1998年11月に実施した漁業調査船「若鷹丸」による着底トロール網を用いた調査で岩手県洋野町沖の水深900 mの調査点で採集された全長6 cmのオオメハダカ。食用にしない。

分布：東北沖から北海道の太平洋岸、北太平洋の亜寒帯域に広く分布する。

写真・文：北川大二（東北区水産研究所）